

令和6年度 要 覧



【乳児棟】 〒437-1621 静岡県御前崎市御前崎2936番地の2
電話 0548 (63) 2386 FAX 0548 (63) 2388



【幼児棟】 〒437-1621 静岡県御前崎市御前崎78番地の27
電話 0548 (63) 2342 FAX 0548 (63) 2350

《幼保連携型 認定こども園》

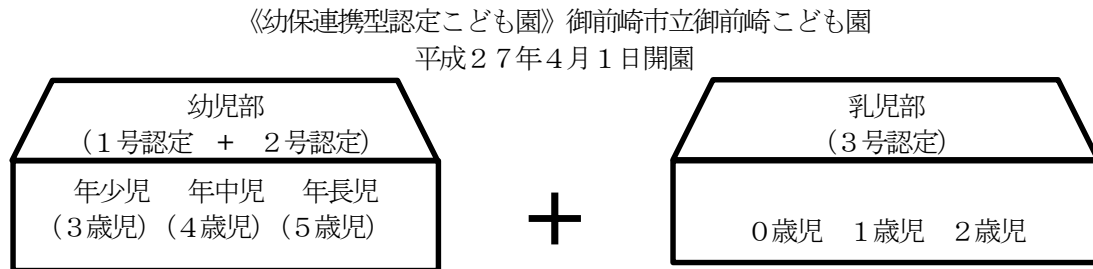
御前崎市立御前崎こども園

【認定こども園】とは

- 教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持つ施設です。

【御前崎市の方針】

- 地域の公立施設を有効活用し、幼・保の機能を集約することで子ども集団の確保を図るとともに、将来同じ小・中学校に通う子どもたちが同じ施設に通うことが可能になります。



園の概要

【沿革】

【御前崎保育園】

昭和41年 御前崎町立御前崎保育園認可
定員60名で開園する
平成2年 現在地に新築移転
平成16年 合併に伴い
御前崎市立御前崎保育園となる

【御前崎幼稚園】

昭和38年 御前崎町立御前崎幼稚園認可
平成13年 3歳児保育開始
平成16年 合併に伴い
御前崎市立御前崎幼稚園となる
平成18年 現在地に新園舎完成
平成26年 預かり保育開

平成27年3月末 幼保連携型 認定こども園の認可を受ける
平成27年4月1日 幼保連携型 認定こども園 御前崎市立御前崎こども園 となる。
前御前崎幼稚園を幼児棟(3歳児～5歳児)
前御前崎保育園を乳児棟(0歳児～2歳児)とし、保育開始する
平成27年4月20日 地域子育て支援センター『みさきっこ』を開設する
令和2年4月1日 地域子育て支援センター『みさきっこ』を社会福祉協議会に移設

御前崎こども園の教育

『園目標』 笑顔いっぱい 元気いっぱい ともだちだいすき
『重点目標』 「きーめた」「やれたよ!」「ぼく、わたしって いいじゃん」

【御前崎こども園の基本理念】

乳幼児期の教育及び保育は、子どもの健全な心身の発達を図りつつ生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担う。

家庭や地域での生活を含めた園児の生活全体が豊かなものになるよう努め、家庭との連携を図りながら、教育と保育が一体的に展開される生活を通して、生きる力の基礎を育成する。

- ・園児一人一人が安心感と信頼感をもって、主体的に生活する中で、いろいろな活動に取り組み体験や経験を十分に積み重ね、乳幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする。
- ・自分から興味や関心をもって遊びや生活に主体的、意欲的にかかわり「やったらできた!」「楽しかった」「おもしろかった」「自分っていいじゃん」等の体験や経験を育てていきたいと考える。
- ・園で培った力が滑らかに小・中学校に接続できるよう、スクールスクラムプランを積極的に推進する。家庭や地域との連絡や情報発信を強化し、一緒に子どもを育てていく意識を高める。

【経営の方針】

○園児には、『「こども園大好き！」「友だちだいすき！」と笑顔いっぱいのこども園』

一人一人を温かく受容し、応答的な関わりや丁寧な援助をすることで、「自分は大事にされている・愛されている」と安心して生活できるようにし、自己肯定感を育みたい。また、園児一人一人が、発達に必要な体験や経験が得られるよう、常に子どもの発達や育てたい力を考え、興味や関心を探りおもいっきり遊ぶ事ができる環境や援助の工夫に努めたい。

○教師には、『一人一人を大切に育てる喜びにあふれ、生き生きと過ごせるこども園』

一人一人の子どもの行動に温かい関心を寄せ、心の動きに応答し共に考える。

常に課題を持って研修に取り組んだり、子どもの視点に立って反省をしたりしながら、感性や人間性を磨くことを心掛ける。職員一人一人の個性を認め合い、お互いの信頼を深めながら職員集団としての力量を高めていきたい。

○保護者には、『信頼され、子育てが楽しいと思えるこども園』

一人一人の子どもの生活について正しい理解を深められるよう、園での生活の様子などを家庭に知らせていく。子どもへの愛情や成長を喜ぶ気持ちを共感し合うことによって園と家庭が互いに望ましい発達を促すための生活を実現していく。

園の教育及び保育の意図が理解できるようドキュメンテーションを活用したり、疑問や要望には対話を通して誠実に対応したりしていきたい。

時 間		7:30	8:15	8:30	8:45	11:00	11:30	12:30	13:15	14:00	15:00	16:00	16:15	17:00	18:30
1号認定 (年少・年長)	通常保育									降園					
	預かり保育														
2号認定 (年少・年長)	保育短時間														
	保育標準時間														
3号認定 (0歳・2歳)	保育短時間														
	保育標準時間														

◎1号認定(短時間部 満3歳以上の子) [保育時間] 8:30～14:00

《早朝登園》 早朝登園を希望される方は、申請書を提出し、許可されると8:15から登園できます。

《預かり保育/新2号認定》 短時間部に在園している園児が、教育課程終了時刻(降園時刻)から

17:00まで保護者の希望により預かる保育です。

◎2号認定(長時間部 満3歳以上で保育を必要とする子)

◎3号認定(長時間部 満3歳未満で保育を必要とする子)

[保育短時間] 8:15～16:15までの 8時間の保育が可能になります。

[保育標準時間] 7:30～18:30までの 11時間の保育が可能になります。

《希望保育》 ●両親・祖父母が全員で働いていて家庭で保育できない場合のみ利用できます。

○土曜希望保育 ○夏季希望保育(お盆を中心に1週間程度) ○年度末・年度始め希望保育

【園児数・学級編成及び職員組織】

R6.4.1現在

【こども園長】 森田 智美												
【副 園 長】 増田 紀子												
【 係 長 】 堀内 花代												
学年	組	男		女		計		学年計		担任名	早番・遅番 保育教諭	
		短	長	短	長	短	長	短	長			
0 歳	ひよこ	0		1		1		1		本杉 美妃	【早番】 塚本 文代 7：30～9:30 加藤 由貴 7：30～15:30 【遅番】 添田 悦子 16:00～18:15	【看 護 師】 大石恵理子 8:15～16:15 【事務員】 赤堀 郁絵 8:15～16:15 【調理員】 溝口 富子 大石理絵子 澤井 芳美 【産休】 坂部 亜由美 湊 奈々 白石 由夏
1 歳	こあら	8		4		12		12		松井 清華 鈴木 愛里		
2 歳	うさぎ	4		5		9		9		堀内 花代 増田 三嘉子		
3歳	たんぽぽ	6		4		10		10		原口 彩	【早番】 添田絵美 7:30～15:30 【遅番】 橋口知加子 12:30～18:00 ※木曜のみ15:00～ 18:00 松林 晶子 11:15～18:00	
		1	5	0	4	1	9					
3歳	ひまわり	4		5		9		9		樽林 千夏		
		0	4	2	3	3	7					
4歳	さくら	11		7		18		21		栗田 紋佳		
5歳	そら	5		7		12		12		小杉山 さやか		
		1	4	1	6	2	10					
	にじ	4		8		12		12		鈴木 菜桜		
		0	4	1	7	1	11					
合 計		42		41		83						
長時間部	たんぽぽ	2		3		5				清水 瞳		
	ひまわり	2		4		6						
	さくら	4		3		7				添田 絵美		
	そら	3		2		5				永田 久美子		
	にじ	3		4		7						

【園 医】

園医（内科）	永尾内科循環器科医院	永尾 正男	御前崎市御前崎 54番地の9	電話 0548（63）6611
園医（歯科）	松浦歯科	松浦 勇次	御前崎市御前崎 109番地の28	電話 0548（55）2020
薬剤師	松尾薬局	松尾 亜由香	御前崎市御前崎 57番地の48	電話 0548（63）6017

【経営方針】 こんなこども園をめざします！

園児には『こども園大好き！ともだちだいすき！と笑顔いっぱい の こども園』
職員には『一人ひとりを大切に育てる喜びにあふれ、生き生きと過ごせる こども園』
保護者には『子育てが楽しいと思える こども園』

スクラム御前崎

【基本目標】

郷土を愛し 未来を創る 人づくり
◎魅力ある、学校をつくるためのPDCAサイクル
D: あなたことが大好きです

【園目標】

笑顔いっぱい
元気いっぱい
ともだちだいすき

御前崎市の乳幼児保育

【基本目標】

生きていく力の基礎の育成
～遊びこむ子～

【教育課題】

◎自分の思いを話し、じっくりと向き合って聴いてもらう温かな関わりの中で安心し、「考える」「伝える」「自分で決める」「やってみる」の経験を積み重ね自信につなげていく

- 心身ともにたくましい子どもの育成
- 生活習慣の定着
- 読み聞かせの推進
- 乳幼児教育の充実と円滑な幼小接続
- 家庭教育の充実

- 「遊び込む」子どもの育成
- 乳幼児期からの家庭教育力向上への支援
- 乳幼児期における個性伸長教育の推進
- 園経営の充実

【重点目標】

「きーめた」
「やれたよ!」
「ぼく、わたしっていいじゃん」



【御中学区の取り組み】

「あなたことが大好きです」～♡心の声を聴く～
子ども理解・受容的な関わりで自己肯定感を高めたい

【具体策】

- ◎「聴く」ことを大事にした温かな関わり
- ◎自分で選びやってみたくなる環境や遊びのしかけ